DPF Cleaner 350° ティー・ピーエフ クリーナー
DPF寿命が
DPFに溜まったスーツを効率的に燃焼させ再生！
ディーゼルプロ デモンストレーション実施中
ディーゼルプロホームページ▶
SUN AUTAS 株式会社サンオータス
お気軽にお問い合わせください
☎045-633-4440
〒223-0059
神奈川県横浜市港北区北新横浜 1-7-3

象とした健康経営優
を取得した事業者に
荒沼 澪、越後桃子）

境作りたい

あった際にすぐ相談できるだけでなく、同規模の会社と差別化も図れる」と同社長は指摘する。

2020年には生活習慣予防健診をスタートし、さらに希望者には、会社負担でピロリ菌検査や腫瘍マーカー検査、脳MRI健診等を実施している。社内の健康研修会では、缶コーヒー飲料の糖質、メンタルヘルス等、健康テーマを題材にした社員教育も行っている。

髙橋社長は、「事故防止のためには健康第一。社員の健康を守り、いつも笑顔でいられる環境を健康経営で作っていきたい」と語る。

社員が健康相談できる環境

サイショウ・エクスプレス 4年連続認定

イベント関連や建築資材を中心に配送を行うサイショウ・エクスプレス（齋藤敦士社長、同江東区）は、今年でブライト500の4年連続認定を受けた。

新3K「綺麗・健康・かっこいい」をモットーに健康経営に取り組む同社。今では「SAISHO健康プロジェクト体制」と題し、健康リーダー、健康経営アドバイザー、健康管理士や産業医等で構成されるサポート体制を構築している。社員が自身の健康について気軽に相談できる環境を整え、福利厚生も充実する同社だが、ここに至るまでには長い道のりがあったと明かす。

健康経営に取り組むきっかけは、「7年前の母の病気をはじめ、健診後の重症化対策ができていないことに改めて危機感を抱いた」ことだ。従業員の大病罹患が続き、その都度求人募集をするも、1～2年で辞めていく傾向が続いていたという。ギリギリの人数で余裕がなかった為、書類選考なしでやる気さえあれば誰でも入れる会社だった。

輸送品質は決していいとはいえず、2020年のコロナ禍、創業以来2期連続で赤字が続いた。「10人ほど退職者が続き、不平不満を言う社員も多かった」と齋藤社長は、悔しい思いをしていたことを打ち明ける。しかし、この期間を経て人材確保、営業活動に地道に取り組んだことで、経営は安定、健康経営にも本格的に取り組んでいった。

齋藤社長は健康経営の効果について、「社員の病気の早期発見・早期治療ができるようになった。万が一健康起因事故が起きた場合にも、会社と社員を守れるのが重要なポイント」と指摘する。

その上で、「旗振り役としてトップが本気で取り組んでいるか。志が高い仲間がいるか。明確なビジョンがあるか。この3つがあることで、健康経営継続に「つながる」と話している。

サイショウ・エクスプレスの齋藤社長

健康診断受診率100％など注力

新郷運輸 3回目の認定

新郷運輸（赤城義隆社長、埼玉県川口市）は今年、3回目となる健康経営優良法人ブライト500の認定を受けた。健康経営優良法人の認定を受け6年目となる同社が、健康経営に取り組むきっかけとなったのは、当時の社員の一人が脳梗塞で倒れ、職場復帰ができなくなったことだ。それまで健康診断は行っていたものの、健康経営は実施していなかった同社は、それをきっかけに、本気で健康経営に取り組むべく決意したという。

自身の健康状態に関心を持ってもらうために、健康推進室の赤城伸子室長が社員一人ひとりに手書きの手紙を送り、年に2回の健康診断受診率100％と再検査の受診率の向上に注力した。赤城室長は従業員が納得して健康に気を付けてくれるよう説得するため、健診項目の意味や医療用語を徹底的に調べ学んでおり、いまも常に新しい情報を取り入れているという。

「手紙は目の前でシュレッダーにかけられることもあり、最初は拒絶も強かった」と当時を振り返る赤城室長。

現在、健康診断をもとに脳MRI検査、SASスクリーニング検査などの健診を行い、インフルエンザ予防接種の全額会社負担、健康診断時のオプション検査の半額補助など福利厚生を充実させている。また、協会けんぽの「禁煙チャレンジ」への参加や、相手の良いところを褒め、感謝する「Good job! Thanks!」カードを贈り合う
り組みなど、さま

健康経営優良法人
2024
Health and productivity
ブライト500

新郷運輸の赤城室長（左）と赤城社長（右）
Good job! Thanks!
カードを背景に

健康経

及川

中小企業へ健康経
営を広める活動を
開している及川健
管理士事務所には
産業医が所属して
り、健康経営を進
ている。同事務所
特に運送業界に強
を持っており、
ラック合同安全衛
委員会を主催し、
期勉強会を開催す
などしている。及
寿彦代表は、「健
経営が注目される
会的背景に、生
産年齢人口の減
少と従業員の高
齢化、人手不足
の深刻化等があ
る」と指摘した
上で、「健康経
営は従業員の生

森づくり

サカイ引越セ
ター（田島哲康
長、大阪府堺市）
4月17日、大阪
岸和田市と「アド
トフォレスト岸和
市三ケ山町サカイ
越センター森づく
活動」に調印し
発表。同15日に
れた調印式には、
阪府から森岡武
知事、岸和田市
岸勝志副市長ら